

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17239
課題名	進行卵巣癌（腹膜癌を含む）における診断的腹腔鏡手術の安全性と有用性に関する検討
研究期間	西暦 2018 年 3 月 22 日～2018 年 8 月 4 日
研究の対象	2012 年 1 月から 2017 年 12 月に旭川医科大学病院産婦人科で進行卵巣癌または腹膜癌の治療のため、診断的腹腔鏡手術または試験開腹術を受けたかた
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢・病理診断・手術時間・出血量・化学療法までの期間など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	進行卵巣癌（腹膜癌を含む）は最初の手術で完全切除できないことが多く、その場合、先に抗癌剤治療を行って腫瘍を小さくしてからもう一度手術を行い、完全切除をめざします。抗癌剤治療を開始する前には病理診断が必要で、従来は試験的に開腹し一部の腫瘍を切除していましたが、上腹部までは観察できないことも多く侵襲も大きいものでした。近年より侵襲の小さな診断的腹腔鏡手術の安全性と有用性が欧米を中心に報告されてきましたが、まだ日本での報告は少数です。本研究の目的は、進行卵巣癌における診断的腹腔鏡手術の安全性と有用性を検討することです。
研究の方法	腹腔鏡手術を受けた方と試験開腹術を受けた方の手術時間、出血量、化学療法までの期間などを比較検討します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学産婦人科学講座 電話 0166-65-2562 FAX 0166-65-2569 研究責任者：産婦人科学講座 高橋 知昭</p>

